

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	西澤悦郎
	全体計画			経費区分	-	内線	3118
事務事業名	12420 防災施設整備事業						
所 属	050100 総務部・総務課						
施 策	03021300 防災体制の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費					
	事業	050000 防災施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
災害発生時に被害を最小限に止めるための施設、設備の充実を図り、情報伝達が迅速に行われる。				北相之島町に地域防災拠点施設を整備し、災害時に自主防災組織等の活動拠点となるとともに、平時は地域コミュニティの拠り所とする。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・長野県グリーンニューディール基金事業を活用し、防災活動センター及び多目的（防災）広場備蓄倉庫公衆用トイレ太陽光発電設置工事を実施 ・同報系防災行政無線等のデジタル化更新に向けて、課内検討。 	長野県が行う長野県衛星系防災行政無線の更新 防災行政無線のデジタル化更新整備
平成29年度 実績	平成30年度 実績
防災行政無線のデジタル化更新整備	全国瞬時警報システム（Jアラート）新型受信機への更新整備
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
雨量計の更新整備	須坂市豊洲地域防災拠点施設整備

指標名	雨量計の更新整備					単位	台
算式						単位	台
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標			4			
	実績			4			
指標選定の理由	市内4カ所（市役所、峰の原、豊丘、仁礼）に設置している雨量計がH26年の更新後、気象庁が定める検定期間の5年を経過することから更新する						
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和2年度 予 算
事業費		674	220,000
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	213,500
	その他	0	3,900
一般財源		674	2,600
人員数 (人)	正規職員	0.3	0.7
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	2,179.5	5,085.5
	嘱託職員	282.9	282.9
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,462.4	5,368.4
市民一人当たりの経費		0.1	4.3
総額		3,136.4	225,368.4

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	674	雨量計更新整備674

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	10,500	豊洲地域防災拠点施設設計監理委託料10,000、用地測量委託料500
14節 工事請負費	185,000	豊洲地域防災拠点施設建築工事一式170,000、県住宅除去工事15,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	24,500	豊洲地域防災拠点施設建設用地購入費18,000、備品購入費6,373ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市内4カ所の雨量計のデータを参考に、避難情報の発令等に活用でき市民の生命・財産を守るためには検定品が必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	雨量計が検定品のため正確な雨量データで、令和元年東日本台風の時には大変有効であった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	予算より低価格にて納入でき費用面でも効率が良かった。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

雨量計は、気象業務法により検定期間（5年間）が定められており令和元年に切れることから更新した。更新後、すぐに令和元年東日本台風が上陸し、正確な雨量データが得られた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
令和元年東日本台風時に、雨量計のデータを参考とし、気象庁から発表される気象情報と併せて、避難情報を発令でき、有効であった。		雨量計更新により、土砂災害避難情報を的確に発令した。北相之島拠点防災施設の建設について、地元区の要望を考慮した対応を図った。今後も必要な設備の充実を図っていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	